



## PHILIP MORRIS JAPAN

プレスリリース

2018年2月28日  
フィリップ・モリス・ジャパン合同会社

### フィリップ・モリス・ジャパン、 「サステナブル・ブランド国際会議 2018 東京」に出展

- 企業ビジョン「煙のない(スモークフリー)社会を、ここ日本で」を紹介
- 同会場内の紙巻たばこ喫煙エリアを加熱式たばこ専用エリアに切替え、加熱式たばこ使用に関するマナー啓発を実施

フィリップ・モリス・ジャパン合同会社(本社:東京都千代田区)は、2018年3月1日(木)・2日(金)に行われる「サステナブル・ブランド国際会議 2018 東京」に出展します。

2006年にスタートし、世界の様々な都市で開催されている「サステナブル・ブランド国際会議」は、世界中のビジネス・リーダーが集い、先進事例に学び、ディスカッションを通じた交流ができる場となっています。2018年のテーマは、「Redefining the Good Life (グッド・ライフの再定義)」。

具体的かつ効果的な協力関係を創出し、サステナビリティ重視のブランド・イノベーションを推進していきます。

親会社であるフィリップ・モリス・インターナショナルは、2025年までに世界たばこ販売数量の30%をIQOSのような煙の出ない(スモークフリー)製品とすることを目標としています。当社ブースでは、「煙のない(スモークフリー)社会」の実現を目指した活動、サステナビリティへの取り組みについてご紹介します。また、今年度の会場は、「煙のない(スモークフリー)社会」を実現、紙巻たばこの喫煙エリアを加熱式たばこ専用エリアに切替え、エリア内にて加熱式たばこの使用に関するマナー啓発も実施します。

【会期】2018年3月1日(木)～3月2日(金)

【会場】ヒルトン東京お台場

【テーマ】「Redefining the Good Life (グッド・ライフの再定義)」について



## PHILIP MORRIS JAPAN

### 「煙のない社会を、ここ日本で」

フィリップ モリス ジャパン(PMJ)は、米国を除く世界でたばこ事業を展開するフィリップ モリス インターナショナルの子会社です。日本では 1985 年にスタートして以来、着実に成長を遂げています。PMJ は、約 1,900 名の社員を擁し、国内シェア 32.1% (2017 年 12 月現在、紙巻たばこおよび加熱式たばこ IQOS 専用ヒートスティックを含む)で業界第 2 位のたばこ会社です。日本では、すでに 300 万人以上が紙巻たばこから加熱式たばこ IQOS へ完全に切替えています。「煙のない社会」の実現を目指して、PMJ は紙巻たばこよりもリスク低減の可能性のある製品を中心に事業活動を加速してまいります。

### IQOS について

IQOS は、専用のブレンドされたたばこ葉を含むヒートスティックを加熱して使用する電子機器です。

紙巻たばこのたばこ葉は 600 度を超える温度で燃焼し、有害な成分を含む煙が発生します。一方で、IQOS は火を使って燃焼せずに 350 度以下の温度でたばこ葉を加熱させ、火を使わず灰や煙が発生しません。低い温度で加熱することによって、本来のたばこ葉の味わいを提供します。たばこ葉を燃やさずに加熱するので、紙巻たばこと比較して有害な化学物質のレベルが大幅に低減しています。

IQOS から発生するものは、煙ではなく、ニコチンを含むベイパーであり、IQOS は成人喫煙者に満足していただける煙の出ない(スモークフリー)製品です。

\* IQOS はリスクフリーではありません。

**報道関係者用問い合わせ先**  
フィリップ モリス ジャパン合同会社  
コーポレート・アフェアーズ 藤原/小池  
TEL 03-3509-1715 FAX 03-3506-7730  
Email [pmj.press@pmi.com](mailto:pmj.press@pmi.com)